

# 中央公民館存続請願不採択に！

## 井之川博幸議員が請願に賛成討論

「沼田市中心公民館の現状とこれからの考える市民の会（亀山晶子代表）」が、12月沼田市議会に提出していた「中央公民館の除却を撤回し、存続を求める請願」は、総務文教常任委員長の「不採択」の報告を受け、賛成・反対の討論後裁決が行われ、賛成1反対17棄権1で請願は「不採択」となりました。



井之川博幸市議

井之川議員は賛成討論の中で、「修理すればまだ十分に使える

中央公民館を急いで壊すのは、旧市役所跡地に進出するホテルのためではないか。」と市民を犠牲にしてまで、ホテルの誘致を優先させる異常さを訴えました。反対討論は金子浩隆議員のみで、委員会で反対した議員の会派からはありませんでした。



## 中央公民館を解体する設計予算を補正で計上

### 日本共産党は反対

中央公民館を来年度に解体除却するための設計予算を今議会補正予算に計上しました。日本共産党は、今年度末に中央公民館廃止後の活動に供する代替施設のめどが立っていない団体も多くある中で、代替施設の改修予算こそ必要な状況であるのに、解体設計予算などは時期尚早だという理由で、大東議員が反対討論を行いました。

討論前の井之川議員の、「平成29年度から公共施設総合管理計画において中央公民館の複合化、多機能化、集約化等、公民連携、長寿命化などの検討が始まっていますが、それらから廃止・除却が決定するまでの間、市長は教育委員会議や社会教育委員会議などの意見は聞かなかったといっているが、これらの組織をはじめ、生涯学習推進協議会、公民館利用者の会など社会教育に関する組織の意見については『教育委員会』としてはどのように聞いてきたのか」という質疑に、一切答えませんでした。

## 市議会議員定数を20から18に削減

### 日本共産党は削減に反対

12月議会最終日の11日、本会議に多数会派などから議員定数を20人から18人に削減する議案が提出されました。

日本共産党の井之川議員は、「2元代表制の下、市民と市政をつなぐ住民自治の重要な担い手であり、議会と行政に住民の声を届けるとともに、市長の活動姿勢及び行政運営を住民の立場から監視し、チェックする重要な役割を持っている議員の数は、市民の多様な意見をより正確に反映させることができる規模が必要です。議員の定数が減れば減るほど、それらの議会の権能が弱体化します。本市は、平成の合併で市の面積は広大な443㎏を超え、集落も点在しています。削減は、いっそう市政や議会が市民にとって遠いものになることは目に見えています。また、議会制民主主義を維持し発展させていくためには一定のコストが必要です。議員定数を削減することは、結局議会そのものが市民本位の市政に背を向けていることになるのではないのでしょうか。」述べて、反対しました。



### 議会が談合疑惑の解明と再発防止を求める決議

沼田市議会は11日、「沼田市における官製談合疑惑の解明と再発防止を求める決議案」について、全会一致で可決しました。

決議は、今回の事件は市の信頼を著しく失墜させたことは明白であり、疑惑の解明及び再発防止には、専門的な知見を有する第三者を含んだ検討委員会等の組織を設置し、市民・議会に対して説明責任を果たすよう強く要望する。また、市職員のコンプライアンス意識の醸成を一層進めるとともに



内部統制制度の導入についても検討することなどを要求し、市議会も全力を挙げることを決議すると訴えています。

2020年12月20日 No.999

# いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料